環境経営レポート

株式会社 大橋金属工芸

2023 年度

（対象期間:　2023 年3月1日～　2024 年2月28日）

作成日：　2024年4月10日
更新日：　2024年9月13日

目　　次

項　　目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10

ごあいさつ

表彰商品のスペシャルカンパニーとしていつまでも心に残る人生の証を商品にして提供しています。
「喜びをかたちに」お金では買えない栄誉を与え、さらなるモチベーションをあげるために、
勲章といえる弊社の賞品をどうぞご利用ください。
カタログ掲載の賞品はバリエーション豊富で必要な時におとどけすることをモットーにしています。
また、お客様のオリジナルで生産する賞品は、専門のデザイナーが表彰商品から参加章、
販促品まで幅広く対応し、ご要望に合ったデザインを提案いたします。
進化する「 ＷＯＲＬＤ ＥＡＧＬＥ（ワールド イーグル）」は、お客様と一緒に未来に向かって
大きく飛躍してまいります。
エコアクション21によって企業価値向上を目指していきたいと思います。

環 境 経 営 方 針

環境経営理念

未来社会の発展と豊かな人生を目指し、本業である表彰品・記念品の生産を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。
　環境にたいする社会の取り組みの変化に順応に対応し、効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に感動を与えるサービスとエシカルアワードTMとして環境に配慮した商品を提供することが当社の一番の環境対策と考えて、会社一丸となって継続的に環境活動に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

１．　環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

２．　創意工夫による省エネルギーにより電力・自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減に努めます。

３．　廃棄ロスをなくす等適正な在庫管理を徹底し、廃棄物の発生抑制に努めます。製造数の管理（重複等ないように）を行い、必要時に必要量のみ購入の徹底。

４．　適正な利用により水使用量の削減に努めます。

５．　廃インクの適正管理に努めます。

６．　環境に配慮した材料により製品を企画し、お客様にお届けします。

７．　SDGs に適合した企業価値向上を目指します。

８．　地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日：　2020年10月1日
改定日：　2022年7月10日

代表取締役　　大橋正起

組 織 の 概 要

更新日： 2024年3月10日

（1）名称及び代表者名
株式会社 大橋金属工芸
代表取締役　大橋　正起

（2）所在地
本　　社　　大阪市天王寺区清水谷町4番10号
第二ビル　　大阪市天王寺区清水谷町9番3号
東京支店　　東京都台東区台東2－1－3　センチュリービル3階

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　統括部長　藤原　成徳　TEL：06-6761-3936
担当者　総務部次長　岩元　亮二　TEL：06-6761-8952

（4）事業内容
表彰商品の製造卸、各種イベント商品企画制作・ノベルティグッズの販売

（5）事業の規模
売上高　17.7 億円

	本　　社	第二ビル	東京支店		合計
従業員　名	54 名	19 名	9 名		82名
延べ床面積　㎡	1775 ㎡	762 ㎡	111 ㎡		2,648㎡

（6）事業年度　3 月　1 日 ～　2 月　28 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：　株式会社 大橋金属工芸
対象事業所：　本　　社
第二ビル
東京支店

対象外：　なし　全社全活動認証範囲
活動：　表彰商品の製造卸、各種イベント商品企画制作・ノベルティグッズの販売

□事業の紹介

表彰商品（トロフィー・メダル等）および記念品（周年記念や卒業記念等）の製造を
営み、スポーツから文化に至る幅広い市場を対象とし、エシカルアワードTMとして環境に配慮した商品企画を推進しています。
社内体制は、デザイン提案から納品まで一連の流れで、協力工場は国内外に有し、
海外製品は、貿易部にて迅速に対応しております。

社内部門 経営企画室・総務部
営業部（本社/東京支店）・企画部・仕入部・貿易部・彫刻加工部・製造部・出入荷部
製品：エシカルアワードTM

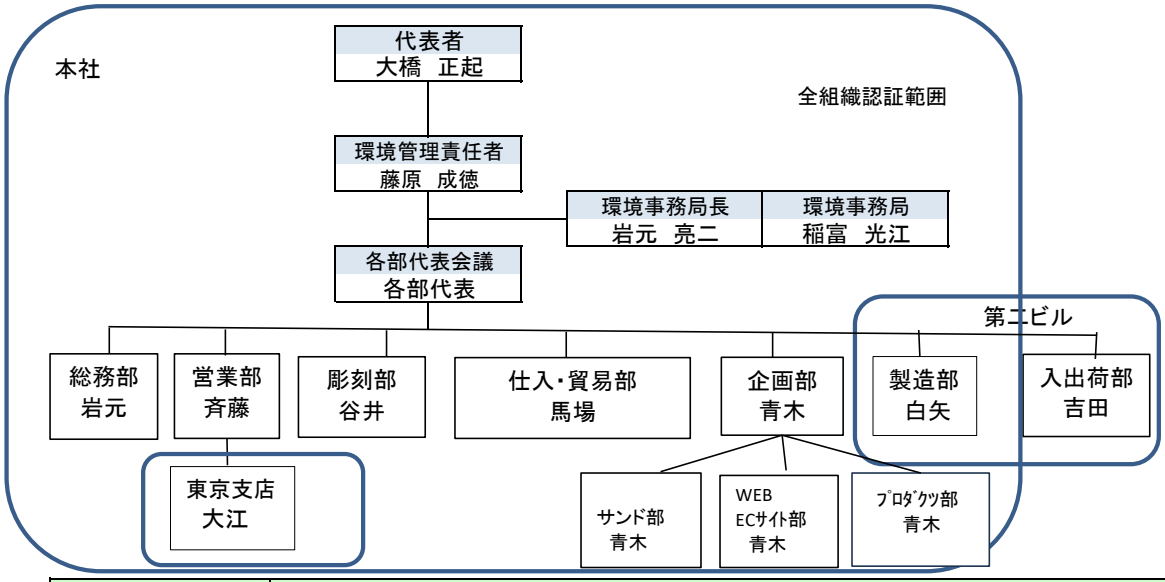
エシカルクリスタルTM

エシカルプレーティングTM

エシカルウッドTM

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日： 2023年2月17日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、各部代表会議の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
各部代表会議	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績

項　目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	86,963	26,731	108,797
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	㌧	11.27	11.93	13.12
混合産業廃棄物排出量	㌧	26.28	27.00	35.00
水使用量	m^3	671	869	1,380
※二酸化炭素排出係数	kg-CO2/kWh	0.440	0.000	0.518

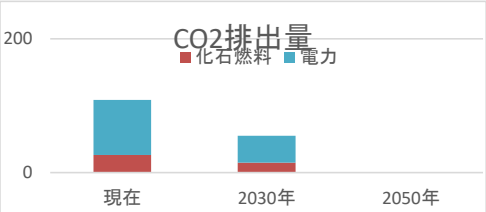
電力会社の調整後の係数

※二酸化炭素総排出量には都市ガスも含まれます。

カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み

単位：t-CO2

	化石燃	電力	対　策
現在	26	83	省エネ+ハイブリッド車+再エネ電力
2030年	15	40	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ電
2050年	0	0	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ電



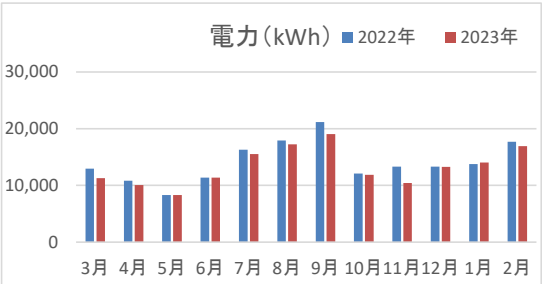
環境経営目標及びその実績

項　目 ＼ 年　度		2022年 (基準値)	2023年 (目標)	2023年 (実績)	評価	2024年 (目標)	2025年 (目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	85,847	84,130	82,548	○	83,272	82,413
	基準年度比		98%	96%		97%	96%
	kWh	165,728	162,413	159,359	○	85,847	159,099
	基準年度比		98%	96%		52%	96%
原単位	kWh/千円	0.109	0.106	0.089	○	0.105	0.104
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	26,707	26,173	26,228	×	25,906	25,639
	基準年度比		98%	98%		97%	96%
燃費	km/L	9.91	9.71	10.1	×	9.61	9.51
上記二酸化炭素排出量合計	**kg-CO2**	112,554	110,303	108,776	―		
一般廃棄物の抑制	**㌧**	11.93	11.57	13.12	×	11.57	11
	基準年度比		97%	110%		97%	96%
混合産業廃棄物の抑制	**㌧**	27.0	26.5	35.0	×	26	26
	基準年度比		0.98	130%		0.97	0.96
水道水の削減	m^3	869	852	1,380	×	843	834
	基準年度比		98%	159%		97%	96%
廃インクの適正管理	活動目標(内容は「□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画」参照)						
環境に配慮した商品の提供	活動目標(内容は「□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画」参照)						
SDGs に適合した企業価値向	活動目標(内容は「□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画」参照)						

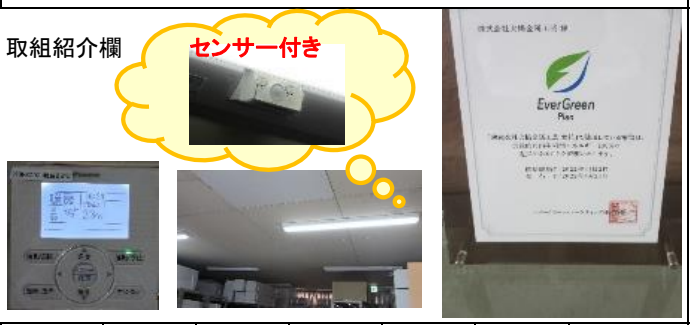
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標：〇達成　×未達成
活動：〇よくできた　△まあまあできた　×できなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	〇	10月に本社トイレも人感センサー付き照明取付工事を実施。無駄な点灯による電気の使用は抑えられている。 今後も、人の通行が不定期・利用されない時間が多い場所などについても順次取り替えて更なる省エネに繋げたい。OA機器のスリープモード機能も活用して節電対策を行ってきた結果、売上原単位の改善に繋がり良かったと思います。
売上原単位	〇	
・空調温度の適正化（冷房25℃　暖房23℃）（共）	〇	
・不要照明の消灯　スイッチに表示・間引き（共）	〇	
・部分的にLEDの設置（共）	△	
・つなぎコンセントのスイッチタイプに切替（本）	〇	
・サーキュレーターの設置（共）	〇	

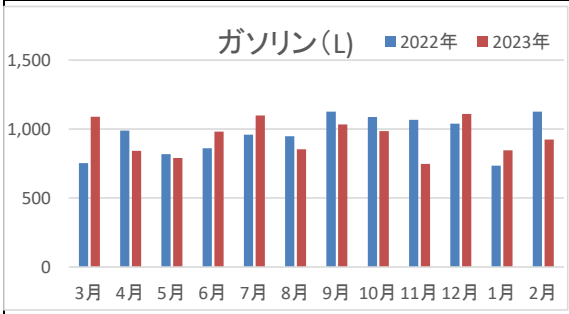


取組紹介欄



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2022年	12,970	10,818	8,294	11,370	16,281	17,913	21,185	12,091	13,296	13,296	13,754	17,705
2023年	11,284	10,052	8,326	11,387	15,549	17,230	19,038	11,879	10,432	13,263	14,015	16,904

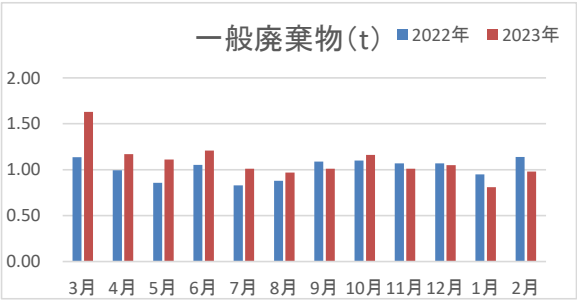
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	各自、営業担当者のエコドライブへの意識強化は定着しつつあると思いますが、売上増加に伴い、走行距離は伸び二酸化炭素の削減には至らずです。 今後は営業と配達を分離させ、配達は外注に依頼し、営業活動メインに効率よいルートでの活動としていき、二酸化炭素の削減に努めたい。
燃費	×	
・アイドリングストップ（本）	〇	
・効率的なルートで配送（本）	〇	
・エコドライブの教育（本）	〇	



取組紹介欄

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2022年	753	990	818	861	960	949	1,127	1,087	1,067	1,040	734	1,126
2023年	1,090	843	790	981	1,099	854	1,034	985	748	1,110	847	925

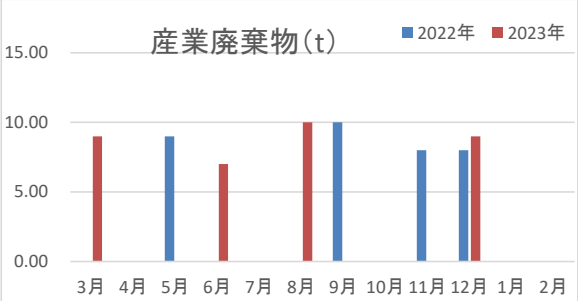
一般廃棄物の抑制	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	社員数と売上の増加に伴い、ゴミ量も必然的に増加傾向にあります。 今期は目標から離れてしまいましたが、引き続き、不要な新聞紙等は梱包で再利用をしており、データ保管の書類も増えてペーパーレス化も進めているところです。
・分別の徹底（共）	〇	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化（共）	〇	
・ペーパーレス　帳票見直し・営業資料の	〇	
・商品個々のビニール袋使用の見直し（２ビ	×	



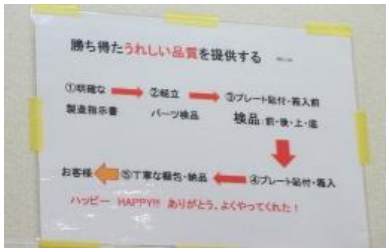
取組紹介欄

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2022年	1.14	0.99	0.86	1.05	0.83	0.88	1.09	1.10	1.07	1.07	0.95	1.14
2023年	1.63	1.17	1.11	1.21	1.01	0.97	1.01	1.16	1.01	1.05	0.81	0.98

混合産業廃棄物の抑制	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	産業廃棄物については管理責任者の元、厳しく管理は行っておりますが、場所の確保の観点より不用品処分も定期的に行っており、一時的にリサイクル業者への依頼が増加となっています。 今後は、管理責任者の元、品質管理に努めちきます。
・作業ミスによる廃棄量の削減（２ビル）	○	
・素材別ボックス/置場所の設定（２ビル）	○	
・必要時に必要量のみ購入の徹底（共）	○	

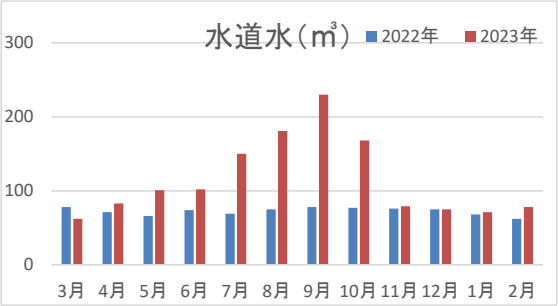


取組紹介欄



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2022年	0.00	0.00	9.00	0.00	0.00	0.00	10.00	0.00	8.00	8.00	0.00	0.00
2023年	9.00	0.00	0.00	7.00	0.00	10.00	0.00	0.00	0.00	9.00	0.00	0.00

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	10月に水道管配管工事を実施。その結果、11月度より昨年並みの使用量に戻せました。水道の無駄遣いは元々見受けられないので、使用量を毎月チェックしながら、現状維持で進めたいと思います。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・トイレに擬音装置利用（共）	○	



取組紹介欄

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2022年	78	71	66	74	69	75	78	77	76	75	68	62
2023年	62	83	101	102	150	181	230	168	79	75	71	78

廃インクの適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・有害性物質の表示の徹底（本）	○	インクの発注量は売上との関連があるため、具体的な減少目標は定めておりませんが、作業ミスによる使用量は常に減少に努めています。引き続き、適正在庫の管理も徹底していきます。
・容器の蓋の徹底（本）	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制（本）	○	
・代替物質の検討（本）	×	

取組紹介欄

有害性物質については丸菱塗料様に有料で廃インク引き取りの依頼をしている。
容器蓋については徹底済。(写真参照)
作業ミスについては廃インクの適正管理をする上においてもムダになるので今後も徹底させてゼロを目指す。
新カタログの印刷には大豆インクを使用する予定。

環境に配慮した商品の提供	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・ＦＳＣ認証材の使用（商品の箱）（本）	×	エシカルアワードのブランド名で環境には配慮した商品群を開発し、新商品の種類も増やして活動しているところです。今後においてもますます積極的に拡げていきたいと思います。
・ビニール袋使用商品の限定（本）	×	
・売上に対する廃棄率削減（本）	○	

取組紹介欄

新しい商品開発のひとつとして環境に配慮したもので、商品開発を進め贈られる人の健康にも配慮したモノづくりに取り組んでいます。

SDGs に適合した企業価値向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・企業PRによる顧客獲得（ホームページ改	×	SDGsの認定企業としての責務を全うすべく、天然資源の持続可能な商品を今後も継続して提供していき、企業の価値向上を図っていきます。
・新しい設備による新製品・商品開発	×	
・SDGs の社内研修	○	

取組紹介欄

都市鉱山から抽出した高純度の金メッキによるリサイクル金メッキ記念品を提供。12 つくる責任・つかう責任を考えて環境に配慮した商品を開発していき、SDGsの認定を取得した。後々にはプラチナ会員も目指し、社会貢献に参画していく。提供する商品を通じて、企業価値を更に高めるPRを今後も推していきたい。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（混合）
騒音規制法	空気圧縮機
労働安全衛生法	SDS対象物質（リスク評価、適正管理）
消防法	火災予防・消火設備（定期点検）
フロン排出抑制法	業務用空調機
顧客要求事項	コロナ対策（衛生管理）. 個人情報管理（保護規定の遵守）. 環境マネジメントシステム導入

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去３年間ありませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定:　火災の発生

■実施日：　2023/12/28　　■実施場所　本社ビル

■参加者：　本社社員34名

■実施内容：　☑通報訓練　☑消火訓練　☑避難訓練

■評価：　手順書の変更の必要性　☐ あり　☑ なし

非常放送を電話の館内放送で実施。全員が避難完了するのに要した時間は4分15秒でした。消火器の使い方等も復習し有意義な訓練活動になったものと思います。今後におきましてもスムーズな移動のための通路確保など備えを万全なものにしていきたいと思います。

■実施状況の様子

緊急事態の想定:　火災の発生

■実施日：　2023/12/28　　■実施場所　第二ビル

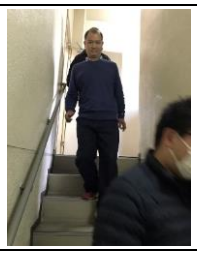
■参加者：　第二ビル社員5名

■実施内容：　☑通報訓練　☑消火訓練　☑避難訓練

■評価：　手順書の変更の必要性　☐ あり　☑ なし

非常放送を電話の館内放送で実施。全員が避難完了するのに要した時間は2分10秒でした。2階通路にも商品が置いていたりしていたので社員だけの少ない人数ではスムーズですが、日中にはパートさんも多くいるため、スムーズな避難が実際に出来るかどうか意識を持って整理整頓も必要かと思いました。

■実施状況の様子



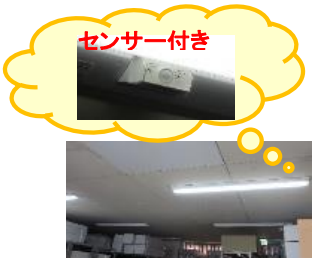
代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2024年4月11日

2020年に環境経営方針として、脱炭素・省エネ・環境に配慮した商品開発の3点を掲げました。コロナ禍の低迷から2022年以降は、市場の回復傾向に伴い、2024年4月新入社員5名を採用し、内製化(彫刻・デザイン部門)を強化しています。8月に彫刻用レーザー機2台を増設しました。使用電力は増加となりますが、業績向上を図ってのことです。
LEDとセンサーによる電気と水量の抑制とEV車の採用を検討し脱炭素・省エネに取り組みます。環境に配慮したEN71Part3(欧州玩具安全指令)の基準に沿った"エシカルアワード"(2023年4月商標登録)の商品開発を進め持続可能な社会を目指して参ります。

環境経営方針	☑	変更なし	□ 変更あり	
環境経営目標・計画	□	変更なし	☑ 変更あり	実績を踏まえて見直すこと
実施体制他	☑	変更なし	□ 変更あり	

これまでの環境活動の紹介



社員の声
・社員の環境に対する意識も向上しつつあり、生産性のある意見も出てきているので、エコアクション活動をすることにより意識改善が図れている部分もあると思います。
・環境に配慮した商品開発に積極的であることを嬉しく思い、これからもエシカルアワードシリーズの商品をどんどん広めてPRしていきたいと感じています。

□編集後記

エコアクション活動の取組みは不可欠なものとなっており、全員の意識改革は年々強くなってきているように感じます。この活動を継続しながらも、現状に満足せず、新たな課題解決に取り組み、環境や社会にさらに貢献出来る企業を目指してまいりますので、引き続きご協力の程よろしくお願いいたします。

2024年 3月31 日　　環境委員会　事務局